

国民年金特別会計基礎年金勘定 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	2,273	2,138	△134	他会計繰入未済金	389	362	△27
未収金等	2,356	2,480	124				
貸倒引当金	△1	△1	0				
				負債合計	389	362	△27
				< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	4,238	4,255	16
資産合計	4,628	4,617	△10	負債及び資産・負債差額合計	4,628	4,617	△10

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	4,104	4,238	133
本年度業務費用合計(A)	△15,986	△16,988	△1,002
財源(B)	16,119	17,005	885
本年度末資産・負債差額	4,238	4,255	16

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
基礎年金給付費	11,811	12,638	826
委託費	583	553	△29
他会計への繰入	3,591	3,796	204
その他	0	0	0
本年度業務費用合計	15,986	16,988	1,002

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	1,548	1,414	△134
財務収支	-	-	-
本年度収支	1,548	1,414	△134
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等			
資金残高等	724	724	-
本年度末現金・預金残高	2,273	2,138	△134

平成17年度について

資産合計は106億円の減少、負債合計は276億円の減少、資産・負債差額は169億円の改善、業務費用は1兆25億円の増加となりました。資産合計の減少の主な要因は現金・預金の減1,347億円であります。負債合計の減少の主な要因は他会計繰入未済金の減276億円であります。資産・負債差額の改善の主な要因は、業務費用合計と財源の差額169億円であります。業務費用の増加の主な要因は、基礎年金給付費の増8,268億円及び他会計への繰入の増2,049億円であります。

留意点

主な増減内容

- 貸借対照表
 - (資産)
 - 現金・預金…本年度収支 +1兆4,141億円
 - 前年度剰余金受入 △1兆5,489億円
 - (負債)
 - 他会計繰入未済金…国民年金勘定等 △276億円
- 業務費用計算書
 - 基礎年金給付費 +8,268億円
 - 他会計への繰入 +2,049億円
- 資産・負債差額増減計算書
 - 本年度業務費用合計と財源合計との差額 +169億円
 - (上記(A) + (B)により算出)
 - ⇒企業会計の「当期純利益」に相当
- 区分別収支計算書
 - 業務収支…他会計からの受入 +8,495億円
 - 基礎年金給付費 △8,268億円
 - 他会計への繰入 △2,101億円